



3 整備にあたり必要な 施設・規模・構造・機能等の検討について

1 身近に生きものを感じられる空間の創出

【生物生息ゾーン】

自然に興味をもち、エコパークゾーンの魅力を感じるきっかけとなるように、身近に生きものを観察することができる空間を創出する。

- 【例】
- ①野鳥が近くに生息する空間
 - ②水辺の多様な生物が生息する空間
 - ③海浜植物等の生育する空間

【一般的な野鳥公園で整備されている機能】

機能	目的・手法等	写真	機能	目的・手法等	写真	機能	目的・手法等	写真
藻場	藻場等を造成し、多様な生物の生息環境の創出をはかる。		干潟	干潟を造成し野鳥の採餌場や休息場を創出する。		塩沼地植物植生	塩沼地植物を移植し、干潟の原風景を再現する。	
石組み	海中に石組みを行い、鳥類の休息場を整備し、野鳥を身近に観察できる空間を創出する。		タイドプール (潮だまり)	海の生きものを身近に観察することのできる空間(潮だまり)を創出する。		ビオトープ	生物多様性を学ぶ場としてビオトープをつくる。	
とまり木	野鳥の休息場となり、とまり木を整備し、身近に観察できる空間を創出する。		湿地	公園敷地内に湿地(水たまり)をつくり鳥類の休息場や自然とふれあえる空間を創出する。		淡水池	雨水や井戸水等を利用し、淡水池を整備する。	

2 自然に親しむ空間の創出【憩いとふれあいのゾーン, 親水ゾーン】

野鳥公園に訪れることでやすらぎや癒しを得られるように、自然に親しむ場所や水辺を感じられる空間を創出する。

- 【例】
- ① 緑や水辺の風景を楽しみながらの散歩やランニングが可能
 - ② 気軽に訪れることができ、自然を感じながら休息や癒しを得られる
 - ③ 野鳥を含めた様々な生物の観察が可能
 - ④ 自然の変化を長期にわたり観察していくことが可能

【一般的な野鳥公園で整備されている機能】

機能	目的・手法等	写真	機能	目的・手法等	写真	機能	目的・手法等	写真
展望室	双眼鏡等を設置した野鳥を観察するための展望室		芝生広場	市民交流の屋外拠点		築山	公園内に起伏をもたせ、公園を見晴らせる丘(築山)	
観察小屋	人の姿を隠し、より近くで野鳥が観察できる。		散策路	野鳥観察施設や広場等までの接続路を、四季折々の自然に親しめる空間を創出する				
観察用ついで	人の姿を隠し、より近くで野鳥が観察できる。		休憩施設(あずま屋)	公園を散策する人々が休憩するベンチや日除け屋根				

3 情報発信・交流拠点の創出

【情報発信・交流ゾーン】

エコパークゾーンや、市民活動の取り組みについての情報を発信していくことにより、市民が環境学習を行っていききっかけをつくるとともに、新たなコミュニティの形成を支援する情報発信・交流拠点を創出する。

【例】

- ①天候に左右されずいつでも活動が可能
- ②エコパークゾーンにいる生物の生態や生息環境を知ることが可能
- ③環境についての学習が可能
- ④NPO活動等について情報提供や情報交換が可能

【一般的な野鳥公園で整備されている機能】

機能	目的・手法等	写真
<p>情報発信 ・ 交流施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理室 ・観察室 ・多目的室 ・観察カメラ等 	

4 1～3以外で一般的な野鳥公園に整備されている機能

機能	目的・手法等	写真		機能	目的・手法等	写真	
情報看板	野鳥公園に飛来する鳥類等の情報を提供する。			植樹・植栽	散策路沿いに植樹・植栽		
緩衝緑地	人と野鳥の共存をはかるために緩衝帯となる緑地。			照明灯	遊具 トイレ 駐車場 売店 案内看板		
水洗い場	市民が野外活動をする際の屋外水洗い場。			遊具			
				トイレ			
				駐車場			
				売店			
				案内看板			

その他検討が必要な事項

- (1) 市街地に立地する野鳥公園として特に留意すべき事項
- (2) にぎわいのある施設にするための工夫